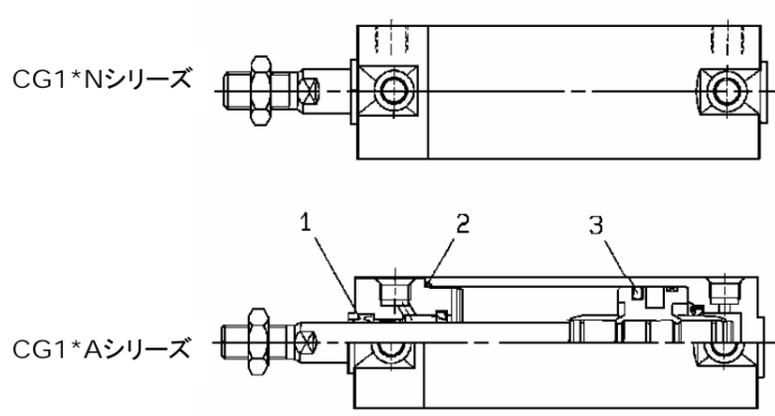


# CG1シリーズシリンダ用パッキン交換要領

## 1 シリンダの分解



・シリンダは清浄な場所で分解・組付を行ってください。  
 ・分解の際には、一方のカバーの二面取り部分を万力などではさみ、他方のカバーの二面取り部分にスパナやモンキーレンチ等を掛けてゆるめ、ロッドカバーを外してください。

- 1.ロッドパッキン
  - 2.チューブガスケット
  - 3.ピストンパッキン
  - 4.バルブパッキン
  - 5.押工用ガスケット
- ※CG1\*Nシリーズには、4・5はございません。

## 2 パッキンの取り外し

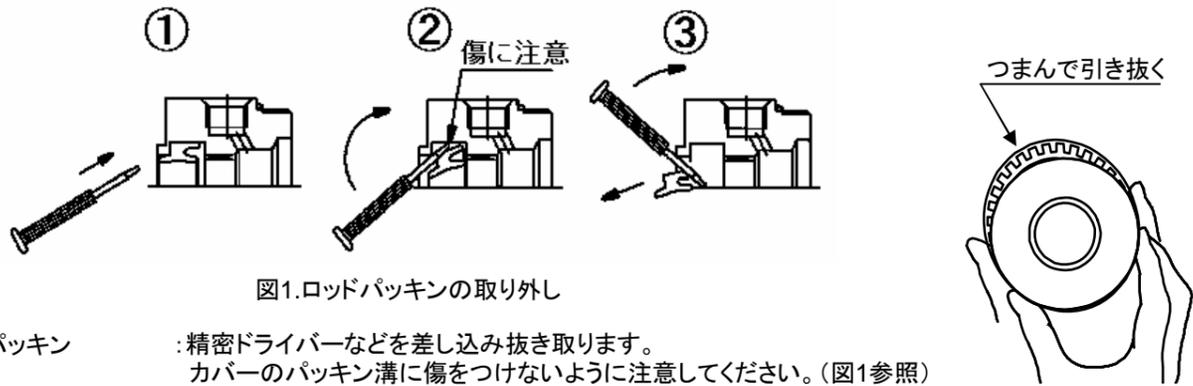


図1.ロッドパッキンの取り外し

図2.ピストンパッキンの取り外し

- 1.ロッドパッキン : 精密ドライバーなどを差し込み抜き取ります。カバーのパッキン溝に傷をつけないように注意してください。(図1参照)
  - 2.ピストンパッキン : 図2のように取り外してください。
  - 3.チューブガスケット
  - 4.バルブパッキン
  - 5.押工用ガスケット
- 精密ドライバーなどで抜き取ります。  
 ※CG1\*Nシリーズには、4・5はございません。

## 3 パッキン類へのグリスの塗布

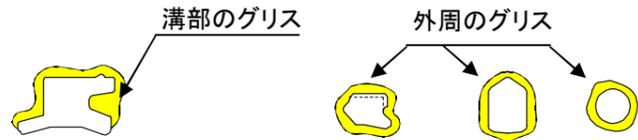


図3.パッキン類へのグリス

・各パッキンの外周に薄くグリスを塗布してください。  
 ・ロッドパッキンの溝部にはグリスを充填してください。

## 4 パッキンの装着

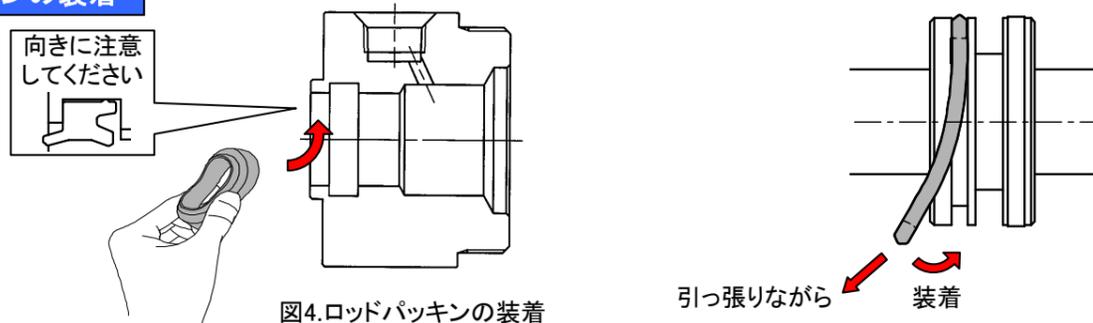


図4.ロッドパッキンの装着

図5.ピストンパッキンの装着

- 1.ロッドパッキン : パッキンの方向を間違えないように装着します。
- 2.ピストンパッキン : 図5のようにパッキンを引っ張りながら装着してください。

## 5 グリスの塗布

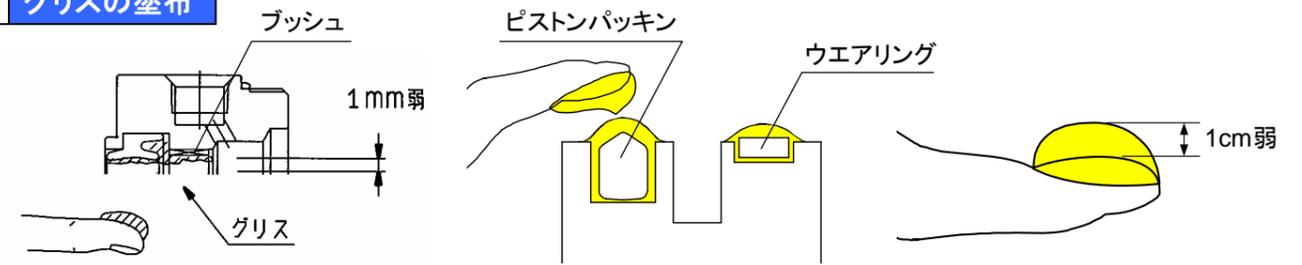


図6.ロッドパッキン

図7.ピストンパッキン

図8.グリス量

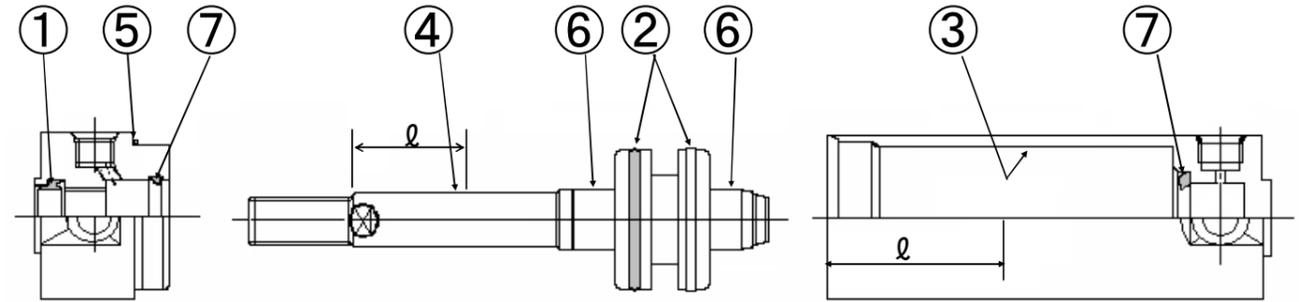


図9.グリス塗布位置

$$l = \frac{\text{ストローク}}{2} \text{ または } 100\text{mm以上}$$

表1.グリス塗布量

ストローク	ボアサイズ				塗布位置
	20	25	32	40	
100ストローク時	2	3	3	3~4	①②③④⑤⑥⑦
50ストローク割増	0.5	0.5	0.5	1	③④

単位:g

CG1\*Nシリーズの場合は⑥⑦はございません

※φ50以上になると大きな締付トルクで締付けていますので、分解は実際上不可能です。分解が必要な際には弊社まで問合せ願います。

- 1.ロッドパッキン : グリスをパッキンとブッシュ内周全体にわたって塗布してください。(図6参照) また、小口径の場合には、精密ドライバーなどを使って傷をつけない様に塗布してください。
  - 2.ピストンパッキン : グリスを擦り込む要領でパッキン溝内部と外周に塗布してください。(図7参照)
  - 3.チューブガスケット
  - バルブパッキン
  - 押工用ガスケット
  - 4.シリンダ各部品
- グリスを薄く塗布してください。  
 図9の各部品にグリスを塗布してください。100stのシリンダ1本につき表1の量のグリスが必要です。目安としては人差し指ですくった程度が約3gです。(図8参照)

## 6 シリンダの組立

- ・ゴミ等が付着していないかよく調べ、パッキン等を傷つけないように行ってください。
- ・カバーを元の位置(ロッドカバー側・ヘッドカバー側ポートが合う位置)より、0° ~2° 程度まで増締めしてください。
- ・組み付けが終わりましたら手でスムーズに動くことを確認してください。